

令和7年度



# しもよねだ

第7号

令和7年9月30日(火)

## 学習状況を振り返る

校長 安藤 由美子

毎年4月に「全国学力・学習状況調査」が行われます。小学校は6年生を対象に行われ、国語、算数、理科の3教科と、学習に関わる状況も含めた質問紙から成る調査です。全国や県の平均と本校の平均を比べてみると、今年度は次のようなことがわかりました。

### 《成果》

- 「先生がよさを認めてくれる」「自分にはよさがある」「学校が楽しい」「友達関係に満足している」と回答する児童が県や全国の平均と比べて高い。
- 「自分と違う意見について考えるのは楽しい」「話し合い活動を通じて、考えを深めたり新たな考えに気付いたりすることができている」など、話し合い活動のよさを感じる児童が多い。
- 算数が「得意」「できた・わかった」と感じる児童が多い。

小集団交流を通じて「伝わった」「わかった」という成功体験を積むこと、高学年の習熟度別少人数学習等で主体的に学習を進めること、地域学校協働活動等によって多様な人と関わりながらよさを認める場を増やすことなど、これまで重点を置いて取り組んできたことが実を結んでいると考えます。

### 《課題》

- ▲将来の夢や目標をもっている児童が少ない。
- ▲語彙力が不足し、複数の情報を関連付けて理解する力が弱い。
- ▲学習した知識をもとに自分で考え、活用する力が十分でない。

課題については、まず、関わる経験が不足していることが原因として挙げられます。克服をめざし、学校では次の点に力を入れて取り組みます。

### 《今後取り組むこと》

- ☆情報同士を結び付けて考えられるように、複数の情報のつながりに気づかせるような発問や問い返しを増やす。
- ☆学んだことを活用したり、自ら課題を見つけて追究したりする場面を位置付ける。
- ☆特に体験活動ではねらいを意識し、自己理解や社会との関わりを視点に振り返りを行う。

引き続き、誰もが「わからん」「でもさ」と疑問や異なる意見を出し合える授業に取り組み、学んだ喜び・乗り越えた喜び・つながった喜びを味わえる学校をめざします。

ご家庭でも、お子さんが興味・関心のあることについて話したり、将来の夢について語ったり、その子にしかないよさを認めたりする機会を積極的につくっていただくとありがたいです。



休み時間もとまらない！  
6年国語「やまなし」のグループ別課題追究